



キャリア教育を行うことで、国は社会的・職業的自立に必要な力の要素のうち、「基礎的・汎用的能力」が育成されると示しています。高知県では「学力向上」「基本的生活習慣の確立」「社会性の育成」の3つを柱とした取り組みを行うことによって、この「基礎的・汎用的能力」を育成していこうと考えています。

改めて新しいことを始めるということではなく、今までの教育活動を新たな視点で捉え直し、高知県のキャリア教育3本柱の内容を計画的に実践し、今までの取り組みの質を高め、次のステージにしっかりとつなげていきましょう。

学力向上

・ 学力向上とは、思考力・判断力・表現力等の知的能力の育成を指します。知的能力は、課題対応能力の中心的な柱であり、人間関係形成・社会形成能力やキャリアプランニング能力の基盤となるものです。

基本的生活習慣の確立

・ 基本的生活習慣の確立によって、自律的・主体的実践力が培われると考えます。自律的・主体的実践力は、自己管理能力を支える力であり、課題解決能力や人間関係形成・社会形成能力とも関わる力です。

社会性の育成

・ 他者や社会との関わり、様々な体験活動等により、自己や社会に対する理解が深まり、コミュニケーション能力が高まります。これらは、自己理解、人間関係形成・社会形成、キャリアプランニングの各能力につながるものです。

基礎的・汎用的能力

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。

「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

上は、色分けによって「基礎的・汎用的能力」と「高知のキャリア教育3本柱」との関係を表したものです。

 のそれぞれの色は、「高知のキャリア教育3本柱」の「学力向上」「基本的生活習慣の確立」「社会性の育成」と関わりが深いことを示しています。